

垂水区会

垂水区会現状報告

垂水区会長 国-11 中山 幸夫

平成 20 年度、垂水区の地域活動は、過去の規模で継続し、正確に言えば、わずかだが拡大することができた。情報ぎやらりーにもよく紹介されてきた J R 舞子駅周辺案内ガイドは、今年も 78 日、延べ 226 人日従事し、3,871 件の案内をしたと報告されている。

このような活動グループは、11 あるが、今回は、そのうち 2 つを紹介したい。

1. 福田川クリーン作戦グループ。

白川・落合を水源とし垂水港に注ぐ由緒ある河川が近年整備され、中流約 2km の両側は遊歩道となっていて、この区間の定期清掃が主な任務である。20 年度の実績は、12 日・延べ 103 人日、燃えるゴミ・燃えないゴミ各 1~3 袋といったところ。

現在登録人数は 22 名、2 月から 13 期生も参加してくれている。元気のよいグループのひとつだ。

[写真参照]

2 KSC 在校生支援グループ。

現在塩屋小学校の登校時交通安全指導となかよし学級支援(20 年度実績 148 日・延べ 173 人日) だけである。登録人数 7 名が、在校生の組むスケジュー

ールに従って活動している。

KSC 地域交流活動報告によれば、去る 19 年度には垂水区 9 グループのうち 4 グループの活動に 0B が参加している。塩屋小学校もそのひとつである。

在校生数が激減したため在校生が主体、会はその支援と位置付けることが、今後在校生活動の中断を避ける途をつけることになると判断し、今年発足した。

なお、8 期以前の先輩が在校生の地域交流活動をご存じなかったため夏季のボランティア研修交流会で周知した。



グループ紹介

うたごえサークル

国 11-文 中村 豊和

うたごえサークルは“わ”の文化部に所属していますが、KSC の歌謡クラブ出身者が中心となり、KSC の卒業生を対象に、卒業後のふれあいの絆を深め歌うことにより各人の健康維持を図るとともにより充実した毎日をエンジョイする事を目標に歌が大好きな仲間が集まって活動を開始しました。

平成 17 年 4 月に発足し、今ではクラブ員の総数は 100 名を超えました。練習の会場は平成 20 年 1 月より“わ”の管理下の須磨一の谷プラザとなり、曜日毎のグループに分かれて練習をしています。練習の成果は仲間内の懇親だけでなく、グループホームやサービスホームへの“うた慰問”に於いても発揮され、訪問の先々で大変喜んで頂いています。やはり歌う事で元気になり気分も高揚する効果があり、なによりご老人の一人お一人が昔歌った歌を思い出され我々と一緒に歌い出す雰囲気楽しいひとときとなります。

練習は毎月 2 曲の新曲を課題曲として約 1 時間、休憩後各自の好きな自由曲を数曲 時間の許す限り歌い楽しんでいます。

うたごえサークルはこれからも自ら楽しみながら“うた活動”を通じて少しでも社会貢献に尽くしたいと思っています。

